

会議等報告書

会議名	三朝町立小学校統合準備委員会 総務・通学部会（第1回）
日時・場所	平成27年5月21日（木）19:00～20:40 役場第4会議室
出席者	<p>保護者代表 岸田寿和（東小）、山本聡美（東小）、小椋秀一（西小）、藤原厚美（西小）、小谷和史（南小）</p> <p>学校関係職員 蔵増校長（西小）、中島校長（南小）</p> <p>地域代表者 青木君夫（小鹿）、相見正二（三徳）、藤井博美（みささ村）、小椋伸夫（高勢）、牧田幸一郎（賀茂）、早栗永人（竹田）</p> <p>有識者 塩谷俊樹、松浦靖明校長、重信眞也前南小学校長</p> <p>教育委員 藤井委員、芦田委員、吉田委員（オブザーバー）</p> <p>事務局 小椋教育総務課長、山本主幹、田栗主事、平井指導主事、</p>
内容	小学校統合に係る校舎の位置・建築内容について

準備委員長	4月27日に開催した小学校統合準備委員会を受けて、本日は第1回総務・通学部会である。小学校統合が子どもたちにとって最善のものになるようご協力をいただきたい。
部会長	大きな課題である新小学校の位置等について考えていかなければならない。みなさまにご協力をいただきながら考えをまとめていきたい。よろしく願います。
部会長	小学校の位置について、事務局の説明をお願いします。
	～事務局より、資料1「新小学校の位置について」説明。～
部員	アンケートは東小保護者しかとっていないのか。
事務局	直近の平成26年度は東小保護者のみにアンケートをとった。資料はそれをつけた。平成24年度に3小学校保護者にアンケートをとったが、同じような結果であった。
部員	普通に考えれば西小の位置であろうが、「東や南に学校を」という考えは全くなかったのか。
事務局	議論の中では、東、南に新小学校をとという議論もあったが、やはり西の位置にと考えた。
部員	昨年度の地域協議会と教育委員会との会の中で、教育長は「3小なら新築」とおっしゃった。それはどうなった？
部員	教育長が不在で、今ここで「言った」「言わない」の議論をしても仕方ないのではないか。

部員	新築移転の場合、現在の陸上競技場に校舎を新築してはどうだろうか。
部員	現在の西小は、むかし、洪水被害が出ていたと聞いている。小中一貫をみすえて、中学校の武道館付近に新校舎を建てるのはどうか。
部員	位置の問題を考えるならば、それは最終的にはお金の問題だ。お金が出せるかどうかははっきりしないと話ができない。
事務局	お金のことを無視することはできないが、初めから新築移転を否定することなく議論をしていただきたいという思いである。
部員	ゴール設定が平成30年4月と決まっていれば、スケジュール上、新築移転は無理であろうから、その話ではできないと思うが。
事務局	決めつけた議論をしないで、さまざまな案から議論を進めたいと考えている。事務局より試案の説明をさせていただく。
	～事務局より試案の説明～
準備委員長	平成30年の統合は法的な拘束力はあるか。
事務局	目標であり法的な拘束力はない。
準備委員長	新築移転の議論はしていいと思うが、その負担は町民がすることになる。町民が納得すれば、校舎の新築移転の話はあり得ると思う。
部員	平成30年の統合を基本に考えていくべきだと思う。そうになると、大規模改修しかないのではないか。
部員	以前勤務していた市内小学校で1億6千万円規模の改修を行った。1億6千万円規模でもかなりよいものができたと実感している。ただし、大規模改修だと教室の広さが変えられない、教室数も基本的には増やせないという課題がある。現在は、多種多様な学習環境が必要である。現状の西小を大規模改修しても、多種多様な学習環境が提供できるかどうかということがある。
部員	児童数が減っていき、また、町の人口が減っていく中で、校舎を新築して莫大な借金を町民が返していけるかと言ったら、それは無理であろう。
部員	統合した場合、今の西小校舎で子どもたちが収まるのか。
事務局	人数的には収まる。
部員	数的には収まると思うが、少人数指導等の教育的なニーズには十分応えられないであろう。教室数を増やすための増築などの対応が必要になると思われる。自分の考えとしては小中一貫校を視野に入れながら話を進めるのも一つのアイデアだと思う。また、大規模改修の場合、校舎の改修作業中の騒音問題やプレハブ校舎の問題が出てくる。
事務局	大規模改修の場合はどうなるのか詳細を研究してみる。今回の大規模改修の試算はプレハブ校舎建築費用を含めていないがプレハブ建

築には1億5千万から2億円程度かかると思われる。

7月末に結論を出したいと考えている。それまでに、様々な意見を出し合い集約してまとめていきたいと考えている。